

群馬経済 同友会報

2022
AUGUST

8



2022年5月23日（月）に第67回 定時総会・演奏会を開催

2022年夏号

No. 122

群馬経済同友会

CONTENTS

* も く じ *

2022年度 第67回 定時総会	1
2022年度 新会員懇談会	3
2022年度 群馬県予算説明会	5
「会員への提言書」に関する意見交換会	12
「2020-2021年度活動報告書」に関する意見交換会	13
各委員会活動報告	14
新会員・退会員	18
会員慶事のお知らせ	20
事務局だより	21

2022年度 第67回 定時総会

2022年5月23日（月）、Gメッセ群馬にて「2022年度 第67回 定時総会」が開催された。新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催（2020年度）や少人数での限定開催（2021年度）が続いていたが、今年度は3年ぶりの全会員を対象とした総会開催となった。

総会では、坂本代表幹事が議長に選任され、山崎事務局長より第1号議案「2021年度 事業報告」および第2号議案「2021年度 決算報告並びに監査報告」を発表、吉田会計幹事により監査報告が行われた。その後、第3号議案「定款の一部変更（案）」では「会員の入会については会員2名（うち1名は幹事）の推薦を要する」と変更すること、また、第4号議案「2022・2023年度 役員選任（案）」では、新たに大竹良明氏（冬木工業㈱社長）が副代表幹事に、また5名の新幹事、1名の新会計幹事が就任する案が示され、満場一致により可決された。第5号議案「2022年度事業計画（案）」では、齋藤代表幹事が今年度の事業計画を発表、川崎総務企画委員長、平方経済活性化委員長、本田次世代育成委員長、石井地域創生委員長、天野未来探索委員長、板垣交流親睦委員長より各委員会の事業計画が発表された。最後に山崎事務局長が第6号議案「2022年度予算（案）」の説明を行い、全ての議案が承認され、審議が終了した。

審議終了後には、齋藤代表幹事がここ数年の同友会活動を振り返ったうえで、「今年度ははいよいよ12月に全国経済同友会代表幹事円卓会議が群馬で開催される。成功裏に終わられるよう、皆様のご協力をお願いしたい」と呼びかけられ、定時総会は閉会した。



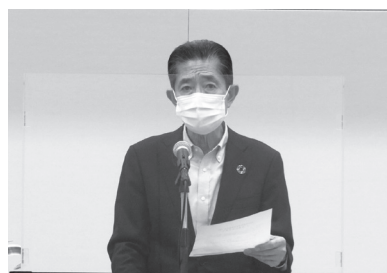
事業計画を発表する齋藤代表幹事



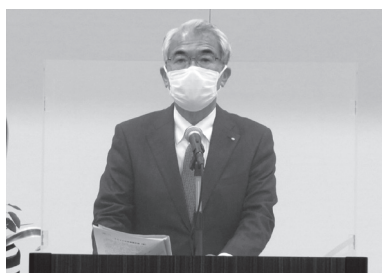
議長の坂本代表幹事



吉田会計幹事による監査報告



川崎総務企画委員長による計画発表



平方経済活性化委員長による計画発表



本田次世代育成委員長による計画発表



石井地域創生委員長による計画発表



天野未来探索委員長による計画発表



板垣交流親睦委員長による計画発表

定時総会に先立ち開催された恒例の演奏会では、群馬県出身の木管トリオ「Kiritomo Trio」による演奏が披露された。木村 ひかりさん、北爪 千尋さん、槁本 茉柚さんがフルート2本とクラリネットで織りなす豊かな響きに会場は酔いしれた。

なお、総会後の懇親会については、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止とした。



演奏会の様子



フルート 木村 ひかりさん



フルート 北爪 千尋さん



クラリネット 槁本 茉柚さん



Kiritomo Trioのみなさん



演奏会后、花束を贈呈

新会員懇談会

総務企画委員会

2022年8月2日(火)にホテルグランビュー高崎にて、2021年10月以降に入会された会員の方々を対象に恒例の新会員懇談会「説明会」を開催した。

新会員懇談会「説明会」では、新会員の自己紹介を行い、齋藤代表幹事による代表幹事挨拶、紹介動画の視聴により群馬経済同友会についての説明が行われた。その後、事務局から今年度の事業計画の説明があり、各委員長により委員会活動について説明が行われた。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年行われている説明会終了後の「懇親会」は中止となった。

■ ご出席頂いた新会員の皆様

※表記は氏名・会員所属企業名・所属企業役職の順

【2021年10月入会】

久保田 智 之	(株) シ ム ッ ク ス	常 務
田 本 充 俊	(株) 天 坊	営業マネージャー
樋 田 浩 二	A L S O K 群 馬 (株)	社 長

【2022年2月入会】

伊 東 裕 二	大 豊 産 業 (株)	東日本支社長
高見沢 仁	アフラック生命保険(株) 群馬支社	支 社 長

【2022年5月入会】

阿 川 和 信	住友生命保険(株) 群馬支社	支 社 長
石 川 雅 之	石 川 建 設 (株)	社 長
稲 葉 賢 士	アサヒビール(株) 栃木群馬支社	理事 栃木群馬支社長
近 藤 大 樹	(株)三菱UFJ銀行 前橋営業部	部 長
杉 山 雅 和	三井住友海上火災保険(株)	群馬支店長
関 口 尚 人	日本生命保険(株) 群馬支社	支 社 長
肥 後 秀 明	日 本 銀 行 前 橋 支 店	支 店 長
渡 邊 裕 士	オリックス(株) 前橋支店	支 店 長

(敬称略・順不同)



齋藤代表幹事によるご挨拶



坂本代表幹事による閉会のご挨拶



自己紹介する新会員の皆様



紹介動画視聴の様子



説明会の様子



■経済活性化委員会 群馬県予算説明会

令和4年度 群馬県予算について

講師 群馬県 総務部 財政課長

下山 正氏

本日は、令和4年度の当初予算を説明する機会をいただきまして大変ありがとうございます。私は昨年の4月から群馬県の財政課長を務めて2年目になります。1年前の4月19日にもこの場にお呼びいただきまして、当初予算の説明をさせていただきました。

昨年度は4月に群馬県内で豚熱（CFS）が数か所で発生しまして、その豚熱の感染対策、さらには新型コロナウイルス感染が拡大しておりましたので、その対策ということで大変な年になるということをお話しさせていただきました。豚熱の発生は、養豚県である群馬県にとっては大変に大きな影響がございます。一度発生しますとその養豚場の消毒や殺処分を実施することになりますので、かなりの人的、物的な投入をして対応せざるを得ないからです。

また、新型コロナウイルス感染拡大に関しましても、今は第6波に襲われておりまして、現状は新規感染者数もあまり落ち着かないですし、いつ第7波が起きてもおかしくないという状況ですので、昨年申し上げました二つのことにつきましても、引き続き今年も目を離せない状況です。

新型コロナウイルス感染拡大につきまして、直近のデータをご紹介させていただきます。4月18日に発表しました新規感染者数は218人です。月曜日はどうしても新規感染者数が少なく

出てしまいますので、以降、どれくらいの感染者数が出るか、注目しているところです。4月18日時点での直近1週間の平均的な感染者数は469.3人です。第6波のピーク時に平均で1000人を超えたときもありますので、それから比べると下がってはきておりますけれども、なかなか減少していかないという状況です。また、感染経路不明者の割合も56%と、50%を超えております。

また、重要な指標といたしまして病床の使用率がございます。それが30.5%です。いわゆるコロナ病床として確保している病床が現在593床あるのですが、その30%を超えた病床が稼働しているという状況です。

1年前は、その時の病床確保が370床台ぐらいとご説明をさせていただいたかと思います。県としましても病床の確保に努めまして、今現在で593床まで増やしてきています。これを何とか、第7波が来る前には600床ぐらいまで増やしたいということで、県としては日々努力しております。

ただ、病床はすぐには増やすことができません。ベッドを確保できたとしてもそれだけでは足りません。実際にはそこを運営するスタッフ、医師や看護師、その他のスタッフの方々が必要になってきます。ということで一床一床を地道に増やしていくという努力を続けながら、第7波

以降、今後感染が拡大したときには皆さまに安心していただけるように、また入院が必要な方については入院していただけるような体制を整えるべく、準備をしているところです。

そして、第7波が来るまでにぜひ進めていきたいと考えておりますのが、やはりワクチン接種です。ワクチンを接種することで免疫をつけていただき、感染や重症化を予防していただきたいと思います。直近のデータですと3回接種している人の割合が全人口比で52.24%と、半分を少し超えた程度の数字になっております。これは全人口、全世代を含む数字です。やはり60代以降の方はかなりの接種率になっておりますが、20代、30代の方々の接種率はまだまだ低いという状況です。全国的に見ますと、群馬県の20代、30代の接種率は他の都道府県から比べれば高いのですが、全人口比からしますと接種率がまだ低いです。

ですから、3回目のワクチン接種を特に若い人にはぜひ受けていただければということで、インセンティブとして色々な商品を抽選でプレゼントするような企画も考えております。4月中に接種を受けられた方は5月末までに応募いただきますと、プレゼントが抽選で当たることになっております。ご関心のある方は、ぜひ応募していただければと思います。ワクチンの接種率を上げて、県全体の免疫を上げることにより、今後の第7波、第8波を乗り切っていければと考えているところです。

重点施策は「コロナ対策」「Next Leap 2022」「財政の健全性確保」

令和4年度の当初予算ですが、「新型コロナ克服+新展開実現予算」ということで、副題を「困難を乗り越えて、飛躍を目指す!!」として予算を作らせていただいております。

具体的な重点施策は三つの柱で編成しています。

一つ目は、今申し上げましたコロナウイルス感染拡大の関係です。「コロナの当面の危機を突破し、長期戦を戦い抜く」ということで、基本的に令和4年度予算の中心はやはりコロナウイルス感染対応です。

二つ目は「Next Leap 2022～飛躍への新たな一歩～」です。コロナ禍で様々な業種の方々が苦労されて、生活が色々制限されている中でも「飛躍への新たな一歩」をぜひ踏み出していきたいという思いで、具体的にはDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進やグリーンイノベーションの推進、リトリートの推進、教育イノベーションの推進、災害レジリエンスNo.1の実現、新たな富や価値の創出、そういった事業を具体的に進めてまいりたいと考えております。

そして三つ目が財政の健全性の確保です。現在の山本知事が知事に就任された当初から、財政の健全性の確保というものを強く打ち出しておりますので、そういった意味でも令和4年度は、また新たな一歩を踏み出した年であると考えております。

重点施策1・「コロナの当面の危機を突破し、長期戦を戦い抜く」

具体的な中身を説明していきたいと思います。重点施策の第一は「コロナの当面の危機を突破し、長期戦を戦い抜く」です。具体的にはワクチン接種の促進、相談・検査体制の確保、医療提供体制等の確保です。ワクチン接種の促進では、今は県央(高崎市・Gメッセ群馬)と東毛(太田市・旧小学校跡地)で県営のワクチン接種センターを運営しておりますが、それを引き続き現在も運営しています。また、様々なワクチン接種の推進策も進めております(26億422万円)。

そして相談・検査体制の確保ということで受診・相談センターの運営を継続するほか、PCR検査等を実施してまいります(59億4296万円)。また、医療提供体制等の確保ということで、これが金額的に一番大きくて720億9913万円です。受入医療機関等の確保につきましては、先ほど申し上げましたコロナ病床の空床確保に加え、宿泊療養用に現在は7ホテル(8棟)で1700超の室数を準備しています。自宅療養されている方も今現在かなり多い状況ですので、そういった方々に毎日連絡を取ったり、必要な物資を届けたりといった経費もこの医療提供体制等の確保として予算化しています。

一方で、経済を回していく必要もあります。企業活動の継続支援ということで、制度融資を総額で1600億円ご用意させていただいております。具体的には経営サポート資金の中で、新型コロナウイルス感染症対策資金として1000億円の枠を設けるほか、緊急経営改善資金として25億円の枠を設けています。また、昨年度もかなり増やしているのですが、「ストップコロナ！対策認定制度」というものを設けております（2億6463万円）。これらの継続支援、あるいは新規申請の受付を進めてまいりたいと考えております。

重点施策2・「Next Leap 2022～飛躍への新たな一歩～」

重点施策の二つ目は「Next Leap 2022～飛躍への新たな一歩～」です。令和4年度から色々な新規事業にも取り組んでいる内容を紹介いたします。

一つはDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進です。県民の仕事や生活など様々なシーンでデジタル化のメリットを実感していただきます。具体的には、教育データの活用もありますし、遠隔医療の推進、企業立地エリアの災害レジリエンスの実証、観光データプラットフォームの構築、ボランティアのマッチングシステムの開発、あるいは「ぐ〜ちょきパスポート」のWebアプリ運用、データに基づくアスリート育成、DXを用いた防災情報の収集など、デジタル化、あるいはデジタルの活用に向けた色々な新規事業を立ち上げたいと考えております（19億5350万円）。

グリーンイノベーションの推進

続きまして「Next Leap 2022」の二つ目の柱が、グリーンイノベーションの推進です。2050年のカーボンニュートラルに向けて、資源の循環を織り込んだ新しい経済社会システムを作り上げていきたいという内容です。まず、グリーンイノベーションの加速化支援ということで、1億1210万円を計上しています。

具体的な事業として、一つ目は革新的環境イノベーションコンソーシアム事業化支援です。

これはグリーンイノベーションの基礎研究やビジネスモデルの事業化支援に対して補助をしていくものです。二つ目は、民間による再生可能エネルギー投資を呼び込むためのプラットフォームの構築、こういったものにも取り組んでいきたいと考えております。

続いて、ぐんま再生可能エネルギープロジェクト（23億9772億円）ということで、金融機関等と連携した県内企業の再生可能エネルギー投資の支援、いわゆる制度融資を新たに設けさせていただいております。これは事業者向けです。住宅用太陽光発電設備・EV等導入資金はどちらかと言うと個人向けです。今まで、太陽光発電設備の個人向け制度融資がありましたが、これにEV導入等の資金も融資対象とするような制度改正をしています。

EV導入実証実験ですが、これは県が直接EVを活用して様々な効果の検証、あるいは課題等について調査を進めていこうという内容です（1億196万円）。また、MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）の社会実装支援として2億円を計上しています。これは、自家用車への過度の依存から公共交通への転換をぜひ図ってほしいということです。

基本的には様々な公共交通、交通手段と決済機能を併せ持ったようなシステムを構築していきますので、ある程度はモデル事業という形で特定の地域を選んで実装することになろうかと思いますが、鉄道とバスやタクシーといったものを一つの決済手段ですべてまかなって、たとえばそれで観光地に行っていただくといった内容です。

今、県では乗り換えコンシェルジュというアプリを提供して、ある地点からある地点に行くにあたって、どういった経路、どういった交通手段を使って行けばよいかをお知らせしています。乗り換えコンシェルジュを必ず使うかどうかは別として、そういった検索システムと一緒に決済システムを設けたうえで、鉄道とバス、タクシーを連結させてある地点に行っていただく、ある特定の観光地のサービスを受けていただくことができるようなモデル事業を実施していきたいという内容です。

新エネルギーの活用住宅モデル事業では、東毛

地域にあります板倉町の板倉ニュータウンに地域マイクログリッドを現在構築しておりますが、これも引き続き実施していきたいと考えております（1億1500万円）。

また、ぐんまゼロ宣言住宅の促進ですが、エネルギーゼロを実現するような住宅を建設する場合に県産木材を活用していただくと一定の補助をしており、これを促進してまいります。

リトリートの推進

次にリトリートについてです。目指すのは「心とカラダをリセットする『リトリートの聖地』」です。少し唐突かと思いますが、群馬県の温泉や豊かな農畜産物を体験していただいて、心とカラダをリセットするリトリートの聖地を目指していこうという事業です。今までのように日帰り、あるいは一泊で帰っていただくというよりも、ある程度の長期間、群馬県に滞在し、心とカラダをリセットしていただき、元気になって帰っていただける観光地、群馬県としての魅力を味わっていただくような仕組みを作っていこうというものです。

具体的な内容といたしましては、群馬の温泉パワー強化ということで、群馬の強みであります温泉地をしっかりと調査して、どんな成分にどういった効果があるのかを医学的にしっかりと検証をする、実証していくことが必要だろうということです（3020万円）。

また、食で癒しのリトリートということで、県産の農畜産物を提供するマルシェとヨガフェスタを同時開催する、食と身体を動かすイベントを開催します（1730万円）。

リトリートの環境整備では、地域が一体的、面的に行なうリトリートの環境整備に向けた施設整備等を支援します。これはいわゆるハード整備です。ある一定期間、長期間、滞在していただくこととなりますと1か所だけでなく、一定程度、面的に回遊していただくこととなります。たとえば食事やアクティビティも含めて、ある程度長くいられるように面的なハード整備をするときは支援するという内容です（2億17万円）。

海外セールスプロモーションでは、外国人向けのリトリートのコンテンツを創出してPRします。外国人の方は日本人よりも滞在する期間が長いということもありますので、そういった取り組みを発掘していきたいということです（1760万円）。

教育イノベーション推進

教育イノベーションの推進につきましては、価値創造（想像）力の育成事業を継続して行ないます。群馬県は今、「Science」「Technology」「Engineering」「Art」「Mathematics」の頭文字を取ったSTEAM教育の推進を進めておりますが、これを引き続き行なうとともに、民間ノウハウを活用した選挙出前授業を行ないます。

デジタル人材の育成ということでは、若い人たちのデジタルチャレンジを応援する事業やぐんまのクリエイティブ拠点化推進、DXを基盤とした新しい学びの確立につきましては、県内の小中高でDXを活用した学びの体制を支援してまいります。

災害レジリエンスNo.1の実現

これにつきましても昨年から継続しているものですが、緊急水害アクション（2億円）、重点水害アクション（16億6650万円）、防災インフラの整備・避難のサポート（276億9487万円）、といった事業を引き続き重点的に進めていく内容になっています。また、災害発生時への備えとして、新規に災害派遣用のトレーラートイレを1台導入します（2650万円）。災害発生時にトレーラーでトイレを運んで行って避難所等で活用できるものです。トレーラー1台に4個というものですが、トイレは災害発生時では非常に苦勞するものですし、汚かったりすると非常に不快な思いをしますので、きれいなトイレを届けられるようなシステムを作りたいと思っています。

防災におけるDX推進ですが、AIを活用してSNS情報から災害の発生状況を収集・把握して、正しい情報を県として発信していくようにします。

今後、避難所を検索したときに、名称や住所だけでなく緯度、経度、混雑状況などを災害発生時に発信できるようなシステムを作りたいと思います。

企業立地エリアの災害レジリエンス実証ですが、現在、県内には色々な工業団地、産業団地がありますが、そういった所に新たに進出していただくときに、どれだけ災害のレジリエンスがあるかということが今後は選択の一つの要素になるかと思っています。そこで、企業立地エリアで水害監視システムを導入します。特に大雨が降った後、道路が冠水してしまうような地域にある産業団地等においては、どうやったら事前にそうした被害を防ぐことができるかを実証実験しながら災害レジリエンスを高めていくための事業にも取り組んでいくことを考えています。

新たな富や価値の創出

「新たな富や価値の創出」ですが、ぐんまちゃんのブランド化がございます。昨年度は全国プロモーション・コンテンツ制作ということで、テレビアニメ『ぐんまちゃん』を13回分、39話を制作しました。これにつきましては引き続き続編を制作するほか、SNS等を活用した海外での認知度向上を図ります。また、キャラバン隊等を組んでPRしていきます（4億3184万円）。

県政の情報発信につきましては、既存のメディアだけでなく、インターネットの普及に伴いユーチューバー等の影響力が非常に大きいということもありますので、ユーチューバー等を活用した、タイムリーで効果的なプロモーションを今後展開していきます（3080万円）。

重点施策3・財政の健全性の確保

財政の健全性をどうやって確保していくか、この部分は財政課でメインの仕事になりますが、三つの視点で見ていただければと思います。

まず、どれだけ貯金があるかという基金残高、次に借金を発行する金額すなわち県債発行額、最後に県債残高をストックベースでどうコントロールしていくかという、三つが柱となります。

予算総額8187億600万円、対前年度比7%増

これまで個別的、具体的な事業を説明しましたが、県予算の全体像を見ていただきますと、令和4年度の総額が8187億600万円、対前年度比7%の増加となっています。これはかなり大きな伸びです。具体的には前年度に比べて536億円の増加です。これは、基本的には新型コロナウイルス感染症の対策経費が大幅に増加しているということです。また規模感から見ますと、平成20年度以降では最大の予算規模という状況です。

具体的に歳入の状況を見ていただきますと、一番大きいシェアを持つ県税は2580億円で、前年度に比べて235億円増と非常に増えています。地方公共団体の特徴として、県税収入が増えると実質的な地方交付税は減少するという制度があります。基本的な行政需要に応じるために国が必要最低限の経費を保証する制度ですので、財源を保障するという意味で、県税が増えると実質的な交付税が減少するという仕組みです。

実質的な交付税というのは、ひとつが交付税で現金給付、もうひとつは臨時財政対策債で、一時的に国から借金をしてそれで賄うようにと国から言われるものです。県税が235億円増えた一方で、臨時財政対策債が435億円となります。国から「群馬県はここまでしか発行できません」という金額が示されますので、義務的に県債発行が435億円減少するということです。従いまして、県債の発行自体は大幅に減少しているという状況です。

次に歳出の状況ですが、こちら基本的には新型コロナウイルス感染症対策経費が対前年度比で464億円増ということで、大幅に増加しています。

税関係交付金というのは、県税として受け入れたものを実際には市町村に交付金として一部を支払う税目です（1139億円）。税収が増えると市町村への交付金が増えるという関係で、こちら61億円増えているわけです。一方で、社会保障関係費につきましては別途説明いたしますが、右肩上がり毎年、毎年、この程度は増えているのが現状です（21億円増）。

基金残高は 185 億円

財政の健全性の確保ということですが、一つの柱となる財政調整基金という、いわゆる県の貯金残高についてです。当初予算の編成時、2月の時点におきまして、これまでは平成24年度に2億円、平成25年度に1億円、平成26年度に3億円、平成27～28年度はゼロでした。翌年度の当初予算を編成するにあたって、一度全額貯金をはたいて予算を作っていた、貯金を崩して予算を編成するという形が長らく続いていたのです。それが令和3年度は当初予算から24億円残し、令和4年度は185億円残して予算を編成しているという状況です。基金残高としてはかなり残っているという状況です。

では基金はどれくらいあったらいいのか、これは皆さんご関心があるかと思います。これは当初予算編成ベースであり、予算は最初に目いっぱい組んでいるものですから、実際の決算では執行残ということで、その内輪で収まることが多いです。ですから最終的に決算では100億円とか200億円の残高が出ます。

ただ、令和2年度の決算でいきますと、専門的には標準財政規模と言うのですが、県の実際の歳入の実力に対して基金残高は決算で184億円、これは県の財政規模に対する割合でいうと4%くらいになります。それを全国で比較すると群馬県は47都道府県中ワースト8位です。下から数えて8番目に貯金が少ない県ということです。基金残高が令和2年度は184億円だった群馬県に対して、たとえば隣の栃木県は400億円を超えています。さらに北関東3県で比べても茨城県は600億円を超えています。他県はその程度の貯金を持ちながら財政運営をしているという状況です。

なぜ貯金が必要かということですが、基本的に県に財源がないときは借金すればいいではないかと思われるかもしれませんが、けれども、勝手に借金をすることは法律で禁じられています。具体的に形として残るようなものでないと借金ができないわけです。たとえば、大雪が降ると除雪しなければなりません、こういったことには借金ができません。県として現金を持っていないと除雪の費用が出せないわけです。何年

か前に大雪が降りました。ああいった時には莫大な除雪費用がかかりますが、現金を持っていないと除雪ができなくなってしまいます。そういったこともあり、ある程度の現金を持っていないといけないのです。

ちょうど2年前になりますが、新型コロナウイルス感染症が発生したときも同様でした。今はある程度、国費が県に支給されますので、それで賄っている部分が多いのですが、当初は、県で色々な経済対策を打たないといけないというような状況でした。その時点では国はまだ対応を決めていませんでしたが、県としてはすぐに対応しないといけない、そういったときに現金がないと動き出せないわけです。当時、日本で一番貯金を持っていた東京都も、さすがにあのときはかなりの財政調整基金を取り崩して経済対策を打ちました。ほとんど底をつきかけるくらいに東京都もお金を使ったと思います。

そういった意味で緊急な財政需要に対応するためには、ある程度の貯金が必要になってきます。令和2年の時点で群馬県は全国でワースト8位でしたが、それを徐々に、少なくとも平均ぐらいまでもっていきたいということで、現在財政運営をしているところです。

財政の健全性の確保の指標となります県債発行額は抑制しています。今回の発行額は予算的には590億円です。県債発行額が600億円を下回ったのは平成5年度以来29年ぶりということで、大きく発行額を減らしています。一番は臨時財政対策債の減少が大きいわけですが、数字的にはこのような状況です。

ストックベースでどれだけ借金の残高が積み上がっているかということですが、令和4年度は前年度に比べて残高が338億円減になります。残高が前年度を下回るのは平成18年度以来16年ぶりです。基本的には右肩上がり、残高が積み上がってきたというのが群馬県の実態です。少しでも残高を減らすということが必要ではなかろうかということです。

令和4年度の組織改正について

予算とは少し離れますが、県の組織も変わりま

した。色々新しいことに取り組むためです。グリーンイノベーションを強化推進していくために、新たな組織として部長級のグリーンイノベーション推進監を設けました。そして部内にグリーンイノベーション推進課、同課内に再生可能エネルギー推進室といった組織を作っています。

また、産業構造の変革に向けた組織再編ということで、産業経済部の中もそれぞれの時代の需要に応じて組織を変えています。

県税収入は前年度並みを想定

先程の県税収入について、もう少し説明が必要かと思います。県税収入が対前年度比で235億円増えたという説明をさせていただいたのですが、これはあくまで令和3年度の当初予算と令和4年度の当初予算を比較して、予算額は235億円増えたと申し上げました。ですが実際に入ってくるお金、実際の県税収入については違う動きをしています。

実は令和3年度当初は、令和2年度に比べまして、新型コロナウイルス感染拡大の影響でかなり県税収入が落ちると見込んだのです。従いまして、令和2年度当初予算では2465億円だったものを令和3年度は2345億円まで落ちると見込んだのです。ただ、決算ベースでいきますと令和3年度は速報値で2570億円です。実際、決算確定後はもう少し上回ると思います。

令和2年度に比べて、コロナ禍でかなり減収になるだろうと見込んだのですが、実態とすると県税収入は落ちずに、若干でも良くなっているのです。令和4年度はこの傾向が続くだろうということで、令和3年度の決算とほぼフラットぐらいの税収を確保できるという見込みで令和4年度の当初予算を組んでおります。

従いまして、実際に県税収入として入ってくる金額は令和3年度から令和4年度にかけて大きく増えるということではなくて、税収自体はほぼフラットということが県としての見込みです。

事業者には色々な業種の方がいらっしゃいますので、コロナ禍で業績がかなり落ち込んでいる事業者の方もいらっしゃるかと思います。ただ、県全体の税収からいきますと、コロナ禍の

影響は今のところ大きくない、あるいは若干良くなっているというのが現状です。

ただ、令和4年度につきましては、半導体の不足や、ウクライナ情勢等による原油をはじめとした原材料の高騰といった情勢もございますので、今年度の事業見込みは税収の面から見ても非常に難しい状況であるのではないかと考えています。ただ、現時点では令和3年度と同程度の税収になるのではないかとという見込みを立てています。このように、税だけは特殊な動きをしています。

プライマリーバランスは黒字を確保しています。先ほど申し上げました社会保障関係費は右肩上がりでかなり伸びています。また、公共事業費関係は前年度並みで推移しています。

公共事業費・15か月予算ということで、国の補正予算とも合わせた金額について見てみます。国の補正予算と合わせますと、公共事業費関係があまり大きく増減することなく、ある一定程度の事業量を確保しながら財政運営をしていくという状況です。最後は急ぎ足になりましたが、私からの説明は以上でございます。

(文責／事務局)

「会員への提言書」に関する意見交換会

経済活性化委員会

経済活性化委員会では、2020年度から2021年度にかけて「企業価値向上」に向けた会員への提言書づくりを進め、2022年3月に「魅力ある企業経営への進化を目指して」をとりまとめた。

2022年6月22日（水）と30日（木）に、『「会員への提言書」に関する意見交換会』が会場参加およびオンライン参加の選択形式で、前橋会場（6月22日／群馬ロイヤルホテル）と太田会場（6月30日／ロイヤルチェスター太田）の2会場にて開催された。前橋会場には25名（会場16名、オンライン9名）、太田会場には16名（会場11名、オンライン5名）の会員が参加した。

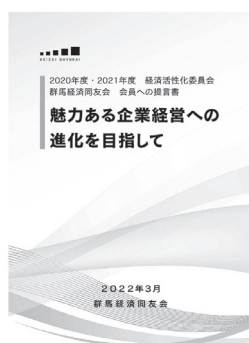
平方経済活性化委員長より「会員への提言書」の内容について説明が行われた後、会員所属企業における企業価値向上に向けた取組状況や今後の取組にあたっての課題などについて活発な意見交換が行われた。

～意見交換会の様子～

【前橋会場】



【太田会場】



「2020-2021年度活動報告書」に関する意見交換会

地域創生委員会

地域創生委員会では、2019年の提言書に基づき、提言の方向性を実現するための「プロセス」をテーマに2年間研究を行い、2022年3月に「持続可能な地域づくりへのプロセス」に関する活動報告書を取りまとめた。

2022年7月7日（木）に群馬ロイヤルホテルにて、『「2020-2021年度活動報告書」に関する意見交換会』が会場参加およびオンライン参加の選択形式で開催され、29名（会場23名、オンライン6名）が出席した。

「2020-2021年度活動報告書」の内容について、石井地域創生委員長より説明が行われた後、「持続可能な地域づくりへのプロセス」について活発な意見交換が行われた。

～意見交換会の様子～



各委員会活動報告

■ 諸 会 議

○2022年度 第1回 委員長会議

開催日 2022年4月6日(水) 15:30~17:00
会 場 群馬ロイヤルホテル
出席者 14名
議 題 2022年度 第67回 定時総会 議案

○2022年度 第1回 幹事会

開催日 2022年5月6日(金) 15:30~17:00
会 場 ラシーネ新前橋
出席者 35名
議 案 ・会員異動について
・正・副代表幹事への推薦(案)について
・特別会員への推薦(案)について
・「2022年度 第67回 定時総会」上程案について

○2022年度 第2回 幹事会

(新会員懇談会と同日開催)

開催日 2022年8月2日(火) 15:00~15:40
会 場 ホテルグランビュー高崎
出席者 34名
議 案 ・会員異動について
・主要行事及び各委員会活動状況

■他団体会議等への出席等

○令和4年度 群馬県高等学校生徒研究発表会兼

第16回関東地区高等学校生徒商業研究発表大会予選
開催日 2022年8月19日(金) 9:00~13:00
会 場 高崎市文化会館
当会出席者 金子副代表幹事

■総務企画委員会

○2021年度分 会計監査

開催日 2022年4月8日(金) 12:00~14:00
会 場 前橋商工会議所会館
出席者 5名

○第34回 全国経済同友会セミナー(特別プログラム)

開催日 2022年4月14日(木) 13:00~15:30

テーマ 『ウクライナ危機:変貌する世界秩序と
世界経済~日本の針路を考える~』

形 式 オンライン形式

当会参加者 18名(全体参加者 1,326名)

【ひょうご・神戸大会は新型コロナウイルス感染症
の影響により中止】

○2022年度 第67回 定時総会・演奏会

【新型コロナウイルス感染症の影響により懇親会中止】

開催日 2022年5月23日(月)
演奏会 15:00~16:00
総 会 16:10~17:30
懇親会 17:40~18:40

会 場 Gメッセ群馬

出席者 231名(内委任状101名)

I. 演奏会 Kiritomo Trio

木村ひかり氏(フルート)

北爪千尋氏(フルート)

槁本茉柚氏(クラリネット)

II. 総 会

第1号議案 2021年度 事業報告

第2号議案 2021年度 決算報告並びに
監査報告

第3号議案 定款の一部変更(案)

第4号議案 2022・2023年度 役員選任(案)

第5号議案 2022年度 事業計画(案)

第6号議案 2022年度 予算(案)

○2022年度 第1回 委員会

開催日 2022年7月11日(月) 10:30~12:00

会 場 ホテルメトロポリタン高崎

出席者 12名

議 題 ・公開講演会の開催方法について
・文化講演会講師の選定について
・公開講演会講師の選定について

○2022年度 新会員懇談会「説明会」

(第2回幹事会と同日開催)

開催日 2022年8月2日(火) 15:45~16:55

会 場 ホテルグランビュー高崎

出席者 45名

■経済活性化委員会

○2022年度 群馬県予算説明会

開催日 2022年4月19日(火) 13:30~14:30
 会場 群馬ロイヤルホテル
 出席者 54名(会場25名、オンライン29名)
 講師 下山正氏(群馬県 総務部 財政課長)
 演題 『令和4年度 群馬県予算について』

○「会員への提言書」に関する意見交換会(前橋会場)

開催日 2022年6月22日(水) 16:00~17:30
 会場 群馬ロイヤルホテル
 出席者 25名(会場16名、オンライン9名)

○産学官金共創 ぐんま未来イノベーション会議[後援]

開催日 2022年6月23日(木) 13:00~18:15
 会場 前橋商工会議所会館
 当会出席者 92名(会場67名、オンライン25名)
 内容 ・特別講演

講師 宮田裕章氏
 (慶應義塾大学医学部 教授)
 演題 『Better Co-being~多様なウェルビーイング実現のための考え方やテクノロジーの活用の仕方~』

・講演(1)

講師 荒木太郎氏
 (経済産業省経済産業政策局
 地域経済産業グループ地域企業高度化推進課長)

演題 『今後の地域経済産業政策について』

・講演(2)

講師 梅原弘史氏
 (文部科学省科学技術・学術政策局 拠点形成・地域振興室長)

演題 『地域イノベーション創出に向けた文部科学省の取組について』

・分科会

テーマ 分科会1
 『SDGsと環境問題』
 分科会2
 『DXと生産性向上』
 分科会3
 『人材の育成と定着・確保』

○「会員への提言書」に関する意見交換会(太田会場)

開催日 2022年6月30日(木) 16:00~17:30
 会場 ロイヤルチェスター太田
 出席者 16名(会場11名、オンライン5名)

■次世代育成委員会

○2022年度 第1回 勉強会(シンポジウム)

開催日 2022年7月19日(火) 15:00~17:00
 会場 群馬県総合教育センター
 出席者 70名
 テーマ 『探究学習を考える』
 内容 パネルディスカッション
 パネリスト 二渡諭司氏
 (群馬県立前橋高等学校 校長)
 高橋みゆき氏
 (群馬県立大間々高等学校 校長)
 松村敏明氏
 (前橋市立前橋高等学校 校長)
 石関英樹氏
 (太田市立太田高等学校 教頭)
 コーディネーター 大森昭生氏
 (共愛学園前橋国際大学 学長)

○5 経済同友会 教育担当委員会交流会

(主催：(公社)栃木県経済同友会)

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】

開催日 2022年7月22日(金)
 会場 国立大学法人宇都宮大学
 陽東キャンパス ベルヴィ宇都宮
 参加同友会 中部経済同友会、富山経済同友会、
 群馬経済同友会、新潟経済同友会、
 (公社)栃木県経済同友会
 内容 ・国立大学法人宇都宮大学(オペティクス教育研究センター、ロボティクス・工農技術研究所) 視察
 ・パネルディスカッション
 テーマ 『キャリア教育の充実について』
 ・意見交換会(懇親会)

○群馬県立前橋高等学校 インターンシップ受入

日程 2022年7月21日(木)~8月26日(金)
 受入生徒数 18名
 受入申請企業 ALSOK群馬(株)、(株)石井設計、(株)板垣、
 (株)群成舎、(株)群馬銀行、群馬日産自動車(株)、群馬ヤクルト販売(株)、佐田建設(株)、
 東京電力パワーグリッド(株)群馬総支社、
 野村證券(株)高崎支店、(株)富士製作所、
 冬木工業(株)、(株)フレッセイ、(株)リクルート
 北関東マーケティング 以上14社

- 群馬県立渋川高等学校 インターンシップ受入
日 程 2022年7月28日(木)～8月26日(金)
受入生徒数 16名
受入中企業 ALSOK群馬(株)、(株)石井設計、(株)板垣、
(株)群成舎、(株)群馬銀行、群馬日産自動車(株)、群馬ヤクルト販売(株)、佐田建設(株)、
東京電力パワーグリッド(株)群馬総支社、
野村證券(株)高崎支店、(株)富士製作所、
冬木工業(株)、(株)フレッシュイ、(株)リクルート
北関東マーケティング 以上14社

□社会人講師派遣

- 2022年度 第1回 社会人講師派遣
開催日 2022年4月19日(火)
派遣先 群馬県立高崎商業高等学校
対象者 3年生100名、教職員3名
派遣講師 遠藤直行氏(株)田村屋/
代表取締役社長
演 題 『自分の将来を切り拓く
(夢を持つことの大切さ)』

- 2022年度 第2回 社会人講師派遣
開催日 2022年7月5日(火)
派遣先 大泉町立北中学校
対象者 2年生130名、教職員8名
◎派遣講師 渡邊裕士氏(オリックス(株)
前橋支店/支店長)
演 題 『働くとは』



講演する渡邊氏

- 2022年度 第3回 社会人講師派遣
開催日 2022年7月5日(火)
派遣先 前橋市立第一中学校
対象者 2年生143名、教職員10名

- 派遣講師 井上幸己氏(株)井ノ上/
代表取締役社長
演 題 『働くことの意義』

- 2022年度 第4回 社会人講師派遣
開催日 2022年7月25日(月)
派遣先 群馬県立大間々高等学校
(ハイブリッド開催)
対象者 1、2、3年生30名、教職員10名
派遣講師 大森昭生氏(共愛学園前橋国際
大学/学長)
演 題 『ジェンダー概念は私たちにどんな
視野を与えてくれるのか』

- 2022年度 第5回 社会人講師派遣
開催日 2022年8月3日(水)
派遣先 群馬県総合教育センター
(オンライン開催)
対象者 教職員16名
派遣講師 金子昌彦氏(カネコ種苗(株)/
代表取締役社長)
演 題 『未来を見据えた人材育成』

■地域創生委員会

- 「2020-2021年度 活動報告書」に関する意見交換会
開催日 2022年7月7日(木) 15:30～17:00
会 場 群馬ロイヤルホテル
出席者 29名(会場23名、オンライン6名)

- 2022年度 第1回 勉強会
開催日 2022年8月4日(木) 14:00～15:30
会 場 群馬ロイヤルホテル
出席者 67名(会場39名、オンライン28名)
講 師 村上敬亮氏(デジタル庁統括官
国民向けサービスグループグループ長)
演 題 『デジタル田園都市国家構想について』



講演する村上氏

○2022年度 第1回 委員会（意見交換会）

（第1回勉強会後に開催）

開催日 2022年8月4日（木）15：40～17：00

会 場 群馬ロイヤルホテル

出席者 28名

■未来探索委員会

○2022年度 第1回 正・副委員長会議

開催日 2022年4月21日（木）16：00～17：00

会 場 前橋商工会議所会館

出席者 7名

議 題 ・2022年度 活動について

・勉強会講師について

○2022年度 第1回 勉強会

開催日 2022年7月21日（木）15：00～16：30

会 場 ホテルグランビュー高崎

出席者 64名（会場25名、オンライン39名）

講 師 長谷部 豊氏（株式会社NTT

DXパートナー 代表取締役）

演 題 『実体験から学ぶDX推進のポイント』



講演する長谷部氏

○2022年度 第1回 委員会（意見交換会）

（第1回勉強会後に開催）

開催日 2022年7月21日（木）16：40～18：00

会 場 ホテルグランビュー高崎

出席者 15名

■交流親睦委員会

○2022年度 第67回 定時総会「懇親会」

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】

開催日 2022年5月23日（月）

会 場 Gメッセ群馬

○第74回 懇親ゴルフコンペ

開催日 2022年5月31日（火）

開催地 富岡ゴルフ倶楽部

参加者 40名

優 勝 柿沼 正博氏（株柿沼製作所／

代表取締役社長）



優勝した柿沼氏

○2022年度 新会員懇談会「懇親会」

（第2回幹事会と同日開催）

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】

開催日 2022年8月2日（火）

会 場 ホテルグランビュー高崎

新会員・退会員

2022年5月入会



大久保 聡

群馬県
産業経済部長

(特別会員)



肥後 秀明

日本銀行
前橋支店長

(特別会員)



石川 雅之

石川建設(株)
社長

(新規会員)



青木 英明

近畿日本ツーリスト(株)
ぐんま支店
支店長

(交代会員)



阿川 和信

住友生命保険(相)
群馬支社
支社長

(交代会員)



稲葉 賢士

アサヒビール(株)
栃木群馬支社
理事 栃木群馬支社長

(交代会員)



押上 剛人

大和証券(株)
高崎支店
支店長

(交代会員)



近藤 大樹

(株)三菱UFJ銀行
前橋営業部
部長

(交代会員)



杉山 雅和

三井住友海上火災保険(株)
群馬支店長

(交代会員)



関口 尚人

日本生命保険(相)
群馬支社
支社長

(交代会員)



高野 則弘

三菱電機(株)
関越支社
支社長

(交代会員)



高橋 豪

清水建設(株)
東京支店
群馬営業所長

(交代会員)



渡邊 裕士

オリックス(株)
前橋支店
支店長

(交代会員)

■2022年8月入会



花井 好機

井上道路(株)
社 長

(新規会員)



入澤 広之

(株)群馬銀行
専 務

(交代会員)



古賀 賢一郎

(株)関電工
執行役員 群馬支店長

(交代会員)



小林 洋平

三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
大宮支店長

(交代会員)



五味 譲太郎

(株)総合PR
社 長

(交代会員)

■2022年5月退会

新 井 孝 雄	(株) ヤ マ ト	会 長	(退 会)
井 上 芙 美 子	アザーズ・ベネフィット(株)	会 長	(退 会)
熊井戸 浩 一	熊 井 戸 工 業 (株)	社 長	(退 会)
平 出 昌 男	平 出 紙 業 (株)	会 長	(退 会)
福 田 朋 英	(株) 福 一	社 長	(退 会)
佐々木 尚 央	近畿日本ツーリスト(株)ぐんま支店	支 店 長	(交 代)
小 山 孝 之	住友生命保険(相)群馬支社	支 社 長	(交 代)
松 葉 晴 彦	アサヒビール(株)栃木群馬支社	支 社 長	(交 代)
大 林 俊 也	大和証券(株)高崎支店	支 店 長	(交 代)
島 田 高 幸	(株)三菱UFJ銀行前橋営業部	部 長	(交 代)
杉 山 茂	三井住友海上火災保険(株)	群馬支店長	(交 代)
林 徹 郎	日本生命保険(相)群馬支社	支 社 長	(交 代)
遠 藤 良 之	三菱電機(株)群馬営業所	営 業 所 長	(交 代)
米 田 俊 博	清水建設(株)関東支店群馬営業所	所 長	(交 代)
友 澤 敏 朗	オリックス(株)前橋支店	支 店 長	(交 代)

■2022年8月退会

岩 井 智	藤 焼 結 合 金 (株)	社 長	(退 会)
安 恒 聡	(株) フ ォ ー テ イ ー ン	社 長	(退 会)
湯 浅 幸 男	(株) 群 馬 銀 行	常 務	(交 代)
土 屋 恵 吾	(株) 関 電 工	群馬支店長	(交 代)
浅 野 善 之	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)前橋支店	支 店 長	(交 代)
五 味 典 雄	(株) 総 合 P R	会 長	(交 代)

(敬称略・順不同)

会員慶事のお知らせ

群馬県総合表彰(労働)



布施 光一 氏

北辰機材株式会社
会 長

群馬県総合表彰(県士整備)



川崎 信行 氏

株式会社 川崎工務店
専 務

この度のご受賞を心よりお祝い申し上げます。今後の益々のご活躍をお祈りいたします。

(新聞掲載順)

訃 報



新井 孝雄 氏

株式会社 ヤマト
会 長

新井孝雄氏(享年82歳)が2022年3月7日にご逝去されました。ここに、謹んで哀悼の意を表すとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

事務局だより ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

■今後の行事予定

- 全国経済同友会事務局長会議
開 催 日 2022年9月8日（木）～9日（金）
会 場 岩手県盛岡市

- 2022年度 第6回 社会人講師派遣
開 催 日 2022年9月13日（火）
派 遣 先 渋川市立渋川北中学校
対 象 者 2年生89名、教職員6名
①派遣講師 石 井 宏 司 氏（㈱ザスパ／代表取締役）

- 2022年度 地域創生委員会 第2回 勉強会
開 催 日 2022年9月15日（木）14：00～15：30
会 場 群馬県庁
講 師 群馬県 県土整備部 都市計画課・交通政策課

- 2022年度 地域創生委員会 第2回 委員会（意見交換会）
（第2回勉強会後に開催）
開 催 日 2022年9月15日（木）15：40～17：00
会 場 群馬県庁

- 2022年度 経済活性化委員会 第2回 勉強会
開 催 日 2022年9月21日（水）14：00～15：30
会 場 群馬ロイヤルホテル
講 師 片 亀 光 氏（群馬県地球温暖化防止活動推進センター長／
環境カウンセラー）
演 題 『群馬の特性を活かしたカーボンニュートラル推進策と企業の実践』

- 2022年度 経済活性化委員会 第2回 委員会（意見交換会）
（第2回勉強会後に開催）
開 催 日 2022年9月21日（水）15：40～17：00
会 場 群馬ロイヤルホテル

- 高校教員との意見交換会（群馬県総合教育センター 高校中堅教諭資質向上研修）
開 催 日 2022年9月22日（木）
派 遣 先 群馬県総合教育センター

- 2022年度 未来探索委員会 第2回 委員会
開 催 日 2022年9月27日（火）16：00～17：30
会 場 ロイヤルチェスター前橋

○2022年度 第7回 社会人講師派遣

開催日 2022年9月28日（水）
派遣先 群馬県総合教育センター
対象者 新任校長130名
派遣講師 大森昭生氏（共愛学園前橋国際大学／学長）

○2022年度 経済活性化委員会 第3回 勉強会

開催日 2022年10月5日（水）14：00～15：55
会場 ホテルメトロポリタン高崎
講師 大川哲郎氏（株式会社大川印刷 代表取締役社長）
勅使河原覚氏（株式会社栄光製作所 代表取締役）

○2022年度 経済活性化委員会 第3回 委員会（意見交換会）

（第3回勉強会後に開催）
開催日 2022年10月5日（水）16：10～17：30
会場 ホテルメトロポリタン高崎

○2022年度 第8回 社会人講師派遣

開催日 2022年10月5日（水）
派遣先 群馬県高等学校長協会
対象者 校長101名
派遣講師 本田博己氏（群馬ヤクルト販売株／代表取締役会長）

○2022年度 第9回 社会人講師派遣

開催日 2022年10月7日（金）
派遣先 群馬県総合教育センター
対象者 教職員95名
派遣講師 本田博己氏（群馬ヤクルト販売株／代表取締役会長）

○2022年度 次世代育成委員会 第2回 勉強会

開催日 2022年10月11日（火）14：00～15：30
会場 ホテルメトロポリタン高崎
講師 杉本美晴氏
（アット・ワンス株式会社 代表取締役／（一社）アンコンシャスバイアス研究所 理事）

○2022年度 次世代育成委員会 第1回 委員会（意見交換会）

（第2回勉強会後に開催）
開催日 2022年10月11日（火）15：40～17：00
会場 ホテルメトロポリタン高崎

○2022年度 第10回 社会人講師派遣

開催日 2022年10月14日（金）
派遣先 西毛地区高等学校PTA指導者研修会
対象者 保護者100名、教職員70名
派遣講師 本田博己氏（群馬ヤクルト販売株／代表取締役会長）

○2022年度 第11回 社会人講師派遣

開催日 2022年10月14日（金）

派遣先 大泉町立西中学校

対象者 中学生120名

⑦派遣講師 久保田 智之 氏（株）シムックス／常務取締役

○2022年度 第12回 社会人講師派遣

開催日 2022年10月15日（土）

派遣先 群馬県立前橋高等学校

対象者 1、2年生、教職員（人数未定）

派遣講師 石井 繁紀 氏（株）石井設計／代表取締役社長

○2022年度 第13回 社会人講師派遣

開催日 2022年10月15日（土）

派遣先 群馬県立前橋高等学校

対象者 1、2年生、教職員（人数未定）

⑦派遣講師 水口 明希 氏（東京電力パワーグリッド株）群馬総支社／総支社長

○2022年度 未来探索委員会 第2回 勉強会

開催日 2022年10月17日（月）14：00～15：30

会場 群馬ロイヤルホテル

講師 井上 諭一 氏（内閣官房 内閣審議官）

○2022年度 未来探索委員会 第3回 委員会（意見交換会）

（第2回勉強会後に開催）

開催日 2022年10月17日（月）15：40～17：00

会場 群馬ロイヤルホテル

○2022年度 第14回 社会人講師派遣

開催日 2022年10月17日（月）

派遣先 群馬県立高崎商業高等学校 定時制

対象者 4年生9名、教職員2名

派遣講師 串田 洋介 氏（クシダ工業株）／代表取締役社長

○群馬県立太田高等学校 企業研究所訪問研修受入

日程 2022年10月19日（水）

受入申出企業 A L S O K 群馬株、（株）石井設計、（株）板垣、（株）群成舎、（株）群馬銀行、群馬日産自動車株、群馬ヤクルト販売株、正田醤油株、東亜工業株、東京電力パワーグリッド株群馬総支社、野村證券株高崎支店、（株）富士製作所、冬木工業株、（株）フレッセイ 以上14社

○交流親睦視察会

開催日 2022年10月19日（水）

視察先 （東京）国立西洋美術館『ベルクグリーン・コレクション展』
日本オリンピックミュージアム

○国内短期視察

開催日 2022年10月25日（火）
視察先 富山市内

○第75回 懇親ゴルフコンペ

開催日 2022年10月29日（土）
開催地 赤城ゴルフ倶楽部

○2022年度 第15回 社会人講師派遣

開催日 2022年11月1日（火）
派遣先 群馬県立伊勢崎高等学校
対象者 1、2、3年生880名、教職員60名
派遣講師 大森昭生氏（共愛学園前橋国際大学／学長）

○国内懇親旅行

開催日 2022年11月3日（木）～5日（土）
訪問先 石垣島（八重山諸島）

○群馬県立伊勢崎清明高等学校 探究型インターンシップ受入

日程 2022年11月15日（火）～17日（木）
受入申出企業 A L S O K群馬(株)、(株)石井設計、(株)板垣、(株)群成舎、(株)群馬銀行、
群馬ヤクルト販売(株)、東京電力パワーグリッド(株)群馬総支社、野村證券(株)
高崎支店、(株)富士製作所、冬木工業(株)、(株)フレッセイ、(株)リクルート北関東
マーケティング 以上12社

○2022年度 第1回 正・副代表幹事会議

開催日 2022年11月16日（水）14：30～15：00
会場 美喜仁桐生文化会館

○2022年度 第3回 幹事会（東毛・両毛地区懇談会と同日開催）

開催日 2022年11月16日（水）15：10～15：50
会場 美喜仁桐生文化会館

○2022年度 東毛・両毛地区懇談会（第3回 幹事会と同日開催）

開催日 2022年11月16日（水）16：00～18：10
会場 美喜仁桐生文化会館
内容 ①講演会の部
講師 鍋木毅氏（プロトレイルランナー）
②懇親会の部

○4 経済同友会 交流会（主催：（公社）栃木県経済同友会）

開催日 2022年11月21日（月）
参加同友会 埼玉経済同友会、群馬経済同友会、新潟経済同友会、（公社）栃木県経済同友会

○2022年度 第16回 社会人講師派遣

開催日 2022年11月25日（金）
 派遣先 渋川市立子持中学校
 対象者 1、2、3年生296名、教職員30名
 派遣講師 渡邊裕士氏（オリックス(株)前橋支店／支店長）

○群馬県立高崎北高等学校 探究型インターンシップ受入

日程 2022年11月29日（火）～12月1日（木）
 受入申出企業 (株)アイ・ディー・エー、AL SOK群馬(株)、(株)石井設計、カネコ種苗(株)、(株)群成舎、
 (株)群馬銀行、群馬日産自動車(株)、群馬ヤクルト販売(株)、佐田建設(株)、
 東京電力パワーグリッド(株)群馬総支社、野村證券(株)高崎支店、(株)富士製作所、
 冬木工業(株)、(株)ヨコオ、(株)リクルート北関東マーケティング 以上15社

○2022年度 第17回 社会人講師派遣

開催日 2022年12月1日（木）
 派遣先 太田市立生品中学校
 対象者 1年生75名、教職員6名
 ◎派遣講師 板橋信行氏（(株)板通／代表取締役社長）

○全国経済同友会代表幹事円卓会議

開催日 2022年12月5日（月）
 会場 Gメッセ群馬

○2022年度 文化講演会（忘年懇親会と同日開催）

開催日 2022年12月7日（水）15：30～17：00
 会場 ホテルグランビュウ高崎
 講師 本郷和人氏（東京大学史料編纂所教授）

○2022年度 忘年懇親会（文化講演会と同日開催）

開催日 2022年12月7日（水）17：10～18：10
 会場 ホテルグランビュウ高崎

○群馬県公立大学法人群馬県立女子大学 企業・業界研究セミナー

日程 2023年1月17日（火）
 会場 群馬県公立大学法人群馬県立女子大学

○2022年度 第18回 社会人講師派遣

開催日 2023年1月19日（木）
 派遣先 群馬県総合教育センター
 対象者 教職員64名
 派遣講師 鈴木靖弘氏（(学)昌賢学園 群馬医療福祉大学／事務長）

○2022年度 第19回 社会人講師派遣

開催日 2023年1月19日（木）
派遣先 群馬県総合教育センター
対象者 教職員64名
派遣講師 島津文弘氏（島津会計(税)／代表社員）

○2022年度 第20回 社会人講師派遣

開催日 2023年1月26日（木）
派遣先 高山村立高山中学校
対象者 1、2、3年生80名、保護者40名、教職員17名
派遣講師 林きみ代氏（株）エーアンドブイ企画／代表取締役会長）

○2022年度 公開講演会

開催日 2023年1月30日（月）13：30～15：00
会場 昌賢学園まえばしホール
講師 安藤優子氏（キャスター／ジャーナリスト）

○2022年度 第2回 正・副代表幹事会議（第4回幹事会と同日開催）

開催日 2023年2月1日（水）14：30～15：00
会場 ホテル磯部ガーデン

○2022年度 第4回 幹事会（高崎・西毛地区懇談会と同日開催）

開催日 2023年2月1日（水）15：10～16：00
会場 ホテル磯部ガーデン

○2022年度 高崎・西毛地区懇談会（第4回 幹事会と同日開催）

開催日 2023年2月1日（水）16：10～18：20
会場 ホテル磯部ガーデン
内容 ①演奏会の部：ハンドベル演奏（新島学園聖歌隊）
②懇親会の部



第74回 懇親ゴルフコンペ 富岡ゴルフ倶楽部にて

2022年8月発行

群馬経済同友会 事務局

前橋市元総社町194番地 群馬銀行内
TEL.027(255)3701 FAX.027(252)6228
E-mail:doyukai@bay.wind.ne.jp
URL:<https://www.gunma-doyukai.jp>